

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会 だより

itami April 27, 2023 vol. 247

CONTENTS

vol.247の主な内容

P.2~4… 代表質問

P.5 …… 個人質問

P.6~7… 議案審査

P.7 …… 議決結果

P.8 …… 人事

市議会からのお知らせ
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で
簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを
掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)

代表質問

令和5年第1回定例会(2月14日～3月24日)では、各会派を代表して5人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 検索

市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム(6月上旬に掲載予定)
- ②本会議中継・録画配信
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨



会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。(3月24日現在)

●新政会

代表 戸田 龍起
(議長) 加藤 光博
高塚 伴子
杉 一
土井 秀勝
花田康次郎

●公明党

代表 竹村 和人
北原 速男
山本 恭子
(副議長) 篠原 光宏
永松 敏彦

●フォーラム伊丹

代表 保田 憲司
(監査委員) 山藺 有理
大津留 求
岸田真佐人
高橋 有子

●創政会

代表 川井田清香
新内竜一郎
佐藤 良憲
鈴木久美子

●日本共産党 伊丹市議会議員団

代表 上原 秀樹
久村真知子

○会派に属さない議員

齊藤 真治
小西 彦治



高塚 伴子 議員



新庁舎における 日射遮蔽用フィンの安全性

問 日射遮蔽用フィン、台風の強風や劣化による落下の危険性が心配されるが、安全対策への見解は。

答 日射遮蔽用フィンの目的は、リズミカルな外観を形成するだ

けでなく、年間を通じて西日を約50%遮蔽することで室内の温度上昇を抑え、空調負荷を軽減することである。また、角度は固定となっており、その安全性は、設計時に構造計算を行った上で安全性を検討した結果、建築基準法に定める基準風速に対して約2.4倍の耐力とし、過去の大規模台風などを上回る耐風圧の構造であるため、強風等で落下

する危険性はない。その上で、安全点検を同法に定める3年に一度の建物点検で実施することとし、15年から30年の間に想定される大規模改修時に必要となれば、補修を行うことを想定しており、安全対策は十分と考えている。



新庁舎の日射遮蔽用フィン

近畿中央病院跡地への医療機関誘致と統合新病院での分娩

問 ①近畿中央病院跡地への民間医療機関誘致に向けた進捗状況は。②統合新病院における分娩の受入件数の見通しを伺う。

答 ①回復期機能を有する民間医療機関誘致の実現に向けて、本

年1月に、公立学校共済組合と跡地への民間医療機関誘致に向けた取組を着実に進めることを改めて確認した。誘致する医療機関等は未定であり、また、本市が費用等を負担する予定はないが、互いに協力し、必要な検討を進めていく。②統合新病院では、母体・胎児集中治療室(MFICU)や新生児特定集中治療室(NICU)等の整備とともに、産科及び新生児医療を担当する小児科・小

児外科・眼科等を備えた高度な周産期医療を提供する「地域周産期母子医療センター」を設置し、正常分娩からハイリスク妊産婦や新生児までの対応が可能な周産期医療提供体制の構築を目指している。統合新病院では、分娩室4室、産婦人科病床39床を整備予定であり、年間約600件相当の分娩の受入れを目指し、安心して分娩を希望していただける環境の整備につなげたい。



竹村 和人 議員



子どもを中心に据えた まちづくりの実現

問 令和5年度施政方針では、子どもを中心に据えた施策を一段と強力に推し進めるとされている。子ども医療費助成制度では所得制限を撤

廃し、本年7月から、中学3年生までの医療費の完全無償化や、高校生世代の入院医療費無償化に加え、就学前施設を同時に2人以上利用する場合の第2子保育料無償化などを実施されるに当たり、政策決定に至った見解を、市長に伺う。

学校体育館空調設備 ～避難所での活用～

問 避難所の環境整備として、神戸小学校体育館に空調機器を設置し実証実験を行うとのことだが、①効果が確認された場合の今後の設置計画は。②停電などエネルギー供給が途絶した場合の運転は可能なのか。

答 ①今後の社会情勢の変化も踏まえつつ、有利な財源の確保や

ランニング時の課題調整など、市教育委員会事務局をはじめ、学校現場、関係部局と十分調整を図りながら検討を進める。②LPガスを運搬車両から直接充填することができる災害バルクタンクを設置し、これを燃料とする発電機を設置することで、3日間は追加充填することなく稼働が可能となる。なお、交通事情や供給体制に不測の事態が生じなければ、電力復旧が遅れた場合にもガスの追加充填により継続した稼働が可能である。また、発電機の電力は、館

答 これまでの行財政改革の成果などを生かして、全ての子どもを対象に子育て世帯の経済的負担が軽減するよう予算を提案した。未来を担う子どもたちが夢と希望を持って健やかに成長できるまちを実現するためにも、国や県に対し、各種制度の拡充や予算の確保など、意見・要望を行うとともに、さらなる行革努力による財源確保にも努め、社会の変化に柔軟に対応した市政運営に引き続き取り組んでいく。

内の照明や、情報を得るツールとして、スマートフォン等の充電のほか、LPガス施設にも炊き出し等を想定した利活用ができるよう、検討を重ねていく。



体育館での避難訓練の様子



岸田 真佐人 議員

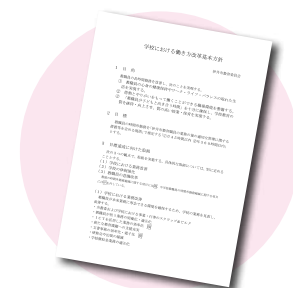


過労死ライン以上の 超過勤務をした 教職員数と対応策

問 昨年12月までで、1カ月あたりの過労死ラインである80時間以上の超過勤務を行った教職員の人数とその割合は。また、該当する教職員に対して、管理職はどのような対応を行ったのかについて伺う。

答 市教育委員会では、平成30年度に「学校における働き方改革基本方針」を策定し、教職員の働き方改革に着実に取り組んでいる。今年度12月までの時間外勤務が1カ月平均80時間を超えていた主幹教諭・教諭の人数は、小学校・特別支援学校では0名、中学校で77名、割合にして32.9%、高等学校で4名、割合にして10%となっている。また、過労死ライン以上の教職員

への対応としては、教職員の時間外勤務について、1カ月ごとに集計を行い、管理職が実態把握を行っている。その際、時間外勤務が多い教職員には適宜、管理職が面談を行い、必要に応じて校務分掌の軽減などの対応を行っている。



学校における働き方改革基本方針

伊丹マダンの設立経緯、 成果、今後への期待

問 伊丹マダンの設立の意義をどのように捉えているのか。また、これまでイベントが果たしてきた役割についてどのように考えているのか。加えて、今後の当イベントに期待することは何かについて伺う。

答 伊丹マダンとは、韓国・朝鮮籍の方々を中心に、全ての外国人に対する民族的な偏見や差別を解消するという意義を掲げ、平成7年に第1回目が開催された。参加者が対面で直接異文化に触れあうことが出来るイベントとして、異文化理解や多文化共生の意識づくりに一定の役割を担ってきたものと認識している。令和3年度より、市

が主催して実施していた多文化共生事業から、市民団体主催による事業として継承され、地域における外国人と日本人との相互理解や、多文化共生の意識を育むことを目指し、開催されることとなった。今後も市民力が発揮され、市民の手によって実施される多文化共生イベントとして開催されることを期待している。



創政会



鈴木 久美子 議員



学校体育館空調設備 整備事業 ～神津小学校での実証実験～

問 検証項目と空調設備に必要な電力の発電方法について伺う。

答 まずは夏季を中心に実際の使用において、空調機器の機能や性能のほか、館内機器の設置数や設置位置の検証を進める。また、使用目的の変化に応じた快適性も併せて検証を行う予定である。他方、空調使用時の温度設定条件や学校開放事業に係る必要に

スポーツ推進の取組

問 スポーツ施設整備を市民ニーズとして捉え、今後、検討していくことが重要と考えるが、見解は。また、子どもの体力低下という社会課題の解決に向けた取組について伺う。

答 施設整備については現在、老朽化が進む本市の社会体育施設全体の更新や再配置の検討を行ってお

り、多様化する市民ニーズへの対応、将来的な財政負担も考慮した持続可能性のほか、多様な市民が気軽に快適にスポーツに親しむことができる施設整備となるよう考慮していく。また、今回のパブリックコメントにおいても、施設整備に係るご意見を頂いており、これらも含め、アンケートや日常でお聞きする市民の様々なご意見、子どもや若者など、将来世代のニーズを踏まえて、検討していく。子どもの体力低下については、日常生活の中で気軽にスポー

応じた受益者負担などの運用、また発電機の稼働音や振動等、学校施設内外の環境確認なども検証予定である。さらに、発電方法について、平時は光熱費や二酸化炭素の排出が比較的抑えられる電気で機器を稼働させ、災害時は災害バルクタンクに充填された3日分のLPガスで発電機を稼働し、得られた電力によって機器を稼働させるため、交通事情や供給体制に不測の事態が生じなければ、ガスの追加充填によって継続稼働が可能となる。

ツができる環境整備が重要と考えており、子どもがスポーツに親しむための取組を着実に進めていくことで、子どもたちの体力向上につなげていく。



伊丹市スポーツ推進計画 (中間見直し版)

果により、年間ランニングコスト約3億円の財源が確保できたことから、様々な子育て支援の一環として、財源の範囲で最大限に制度を拡充するものである。高校生の通院医療費の無償化を実施するには、1年間で、さらに約2億円の財源が必要となることから、現時点では実施に至らなかったものである。こども医療費助成は、本来、国が全国一律の助成制度を創設すべきものと考えており、引き続き、国に対して全国市長会を通じて要望を行っていく。

に引き続き、本年度も物価高騰による食材料費の高騰分については保護者負担を求めないこととしている。



小学校給食中の様子

付金制度の延長を国に求めるとともに、独自の財源を含めて、本市でも無償化、最低でも負担軽減を改めて求めるものであると考えるが、見解を問う。

答 市単独での学校給食費の無償化は、財源確保の観点からも大変厳しい状況となっている。国や他の市町村の動向に注視し、引き続き検討するとともに、国に対しても要望していく。本市では、学校給食費の保護者の負担軽減には至っていないが、昨年度

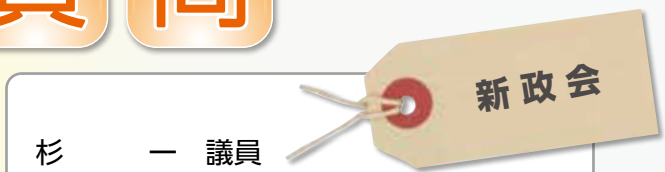
個人 質問

代表質問のほか、14人の議員が個人質問を行いました。

ここでは、質問の項目のみを紹介します。

代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。





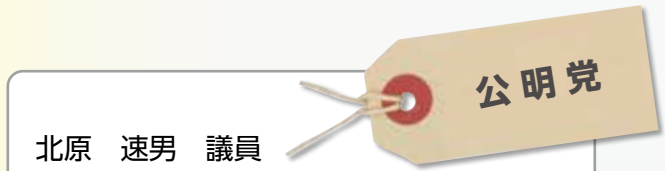
新政会

杉 一 議員

- 施政方針の安全・安心のまちづくり避難所環境の充実を受けて
- 施政方針のデジタル改革を受けて
- 令和7年日本国際博覧会いわゆる2025年大阪・関西万博

花田康次郎 議員

- 男女共同参画センター



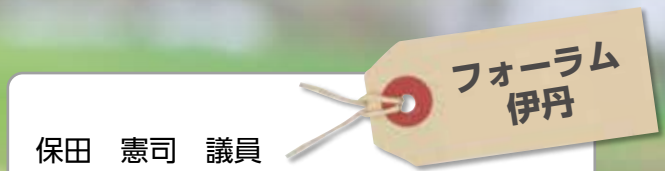
公明党

北原 速男 議員

- 外国人児童生徒の教育
- 市営住宅
- 統合新病院

永松 敏彦 議員

- 園児の送迎バス実証実験結果と国の指針に対する対応
- ごみ収集委託事業にかかわる仕様書の内容と委託業者の選定方法



フォーラム伊丹

保田 憲司 議員

- 新庁舎でスタートした「スマート市役所」、「スマート窓口」
- 中学校における部活動の地域移行
- パイプオルガン、カリヨンからみる国際交流

山藺 有理 議員

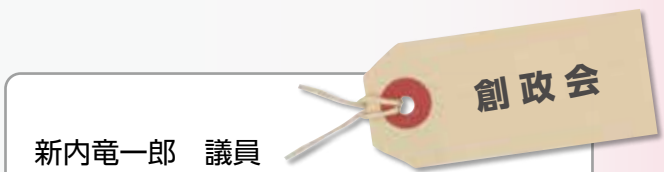
- 市バス事業の継続的發展
- 自転車の安全利用の促進
- 児童クラブの充実を

大津留 求 議員

- 生活福祉資金の特例貸付(コロナ特例貸付)
- 公共工事受注事業者・下請事業者の関係法令遵守
- 重度障害者医療費助成制度

高橋 有子 議員

- 就学前施設の再編
- 子どもの声を聴くということ



創政会

新内竜一郎 議員

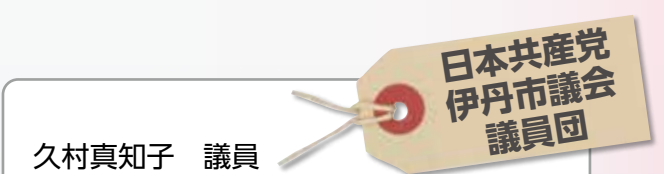
- ふるさと伊丹市の長所と短所とその対応策

佐藤 良憲 議員

- 待機児童の現状と対策
- 施設開放事業

川井田清香 議員

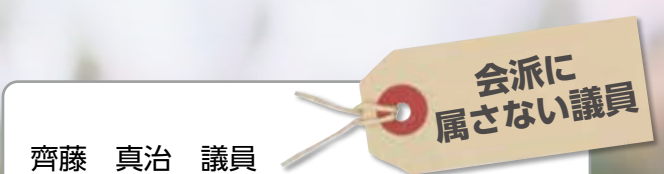
- 母子家庭等医療費助成制度
- 「伊丹市手話言語条例」施行から5年、その後の施策展開
- 公共施設におけるWi-Fi整備



日本共産党伊丹市議会議員団

久村真知子 議員

- 住宅確保困難者への対応
- 市営住宅の空き室の活用への対応



会派に属さない議員

齊藤 真治 議員

- 市の公園及び道路等の利用
- 市の合葬墓
- 健康フレイル政策

小西 彦治 議員

- フリースクール
- 小中学校9年一貫教育
- 中学校選択制の導入

議案審査

令和5年第1回定例会では、**議案は51件**でした。
ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。
なお、議案名の横に**A～D**

とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。
3つの常任委員会と
**分科会方式を導入した
予算等審査特別委員会**
で審査が行われたんだ。



総務政策常任委員会

○令和4年度 一般会計補正予算

42億9,780万7千円を追加補正

国の補正予算に伴う有利な財源を活用し、学校施設、道路橋及び公園施設等のインフラの老朽化対策が行われます。

その他の議案

- 権利の放棄
- 土地所有権移転登記手続請求事件に係る和解を成立させること及び財産の減額譲渡

文教福祉常任委員会

- 令和4年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和4年度 介護保険事業特別会計補正予算

都市企業常任委員会

- 令和4年度 病院事業会計補正予算
- 令和4年度 下水道事業会計補正予算
- 物品の取得 **A**

予算等審査特別委員会

○令和5年度 一般会計予算 **B**

一般会計予算額は828億円

令和5年度一般会計当初予算は828億円で、前年度比6億円減(0.7%減)となっています。

歳入においては、市債が普通建設事業及び臨時財政対策債の減少等により36億2千万円減、市税は給与収入の伸び等により7億7千万円増となります。

歳出においては、扶助費が重点施策である子育て施策の充実及び社会保障関係費の増加等により12億4千万円増、物件費は光熱費の増加等により7億4千万円増となります。

財政調整基金の名目残高(土地開発基金への積み立てや幼児教育推進計画に基づく関連施策のため一時的に取り崩した額を加算したもの)の標準財政規模に対する割合は16.7%となり、財政指標の水準未満となる見込みです。

その他の議案

- 令和5年度 国民健康保険事業特別会計予算
- 令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 令和5年度 介護保険事業特別会計予算
- 令和5年度 鴻池財産区特別会計予算
- 令和5年度 荒牧財産区特別会計予算
- 令和5年度 新田中野財産区特別会計予算
- 令和5年度 病院事業会計予算
- 令和5年度 水道事業会計予算
- 令和5年度 工業用水道事業会計予算
- 令和5年度 下水道事業会計予算
- 令和5年度 交通事業会計予算
- 令和5年度 モーターボート競走事業会計予算
- 市長等の給与に関する条例の一部改正
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 手数料条例の一部改正
- 子育て支援のための医療費の助成に関する条例及び福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- こども発達支援センター条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- すずはら地区交流センターの指定管理者の指定
- 「伊丹市ゼロカーボンシティ宣言」を行うこと



総務政策分科会(3月8日・9日)

構成員
保田座長
新内分科員
杉分科員
永松分科員
上原副座長
高塚分科員
岸田分科員



文教福祉分科会(3月10日・13日)

構成員
川井田座長
久村分科員
戸田分科員
土井分科員
高橋副座長
山本分科員
佐藤分科員



都市企業分科会(3月14日・15日)

構成員
竹村座長
北原分科員
小西分科員
花田分科員
齊藤副座長
大津留分科員
鈴木分科員

委員会付託なし

- 天神川小学校大規模改修(第1期)工事の請負契約の一部変更契約
- 市宮天神川団地3・5号館耐震補強他工事の請負契約の一部変更契約
- 市宮玉田団地6・9号館エレベーター設置工事の請負契約の一部変更契約
- 市宮荻野団地(1～3号館)耐震補強他工事の請負契約の一部変更契約
- (仮称)鈴原交流センター整備工事の請負契約の一部変更契約
- ひかり保育園大規模改修(第2期)工事の請負契約の一部変更契約
- 固定資産評価審査委員会委員の選任(3件)
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 教育委員会委員の任命
- 議会会議規則の一部改正
- 市長の専決処分事項に関する条例の一部改正
- 議会の個人情報の保護に関する条例の制定 **C**
- 議会議員定数条例の一部改正 **D**
- 建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書
- 保育士等の配置基準及び地域区分の見直し等を求める意見書

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。
第1回定例会の**議案51件**のうち**50件**は**可決・承認**されましたが、**議案1件**は**否決**となりました。

議案 46件
報告 1件
諮問 1件
意見書 2件
可決承認
否決 議案 1件

賛否の分かれた議案

- A**物品の取得
- B**令和5年度 一般会計予算
- C**議会の個人情報の保護に関する条例の制定
- D**議会議員定数条例の一部改正

会派名 議員名	A	B	C	D
新公会	可決	可決	可決	否決
加藤 光博(議長)	—	—	—	—
高塚 伴子	○	○	○	×
杉 一	○	○	○	×
戸田 龍起	○	○	○	×
土井 秀勝	○	○	○	×
花田康次郎	○	○	○	○

公明党				
北原 速男	○	○	○	×
山本 恭子	○	○	○	×
篠原 光宏(副議長)	○	○	○	×
竹村 和人	○	○	○	×
永松 敏彦	○	○	○	×

フォーラム伊丹				
保田 憲司	○	○	○	×
山岡 有理(監査委員)	○	○	○	×
大津留 求	×	○	○	×
岸田真佐人	○	○	○	×
高橋 有子	○	○	○	×

創公会				
新内竜一郎	○	○	○	×
佐藤 良憲	○	○	○	○
川井田清香	○	○	○	×
鈴木久美子	○	○	○	×

日本共産党伊丹市議会議員団				
上原 秀樹	○	×	×	×
久村真知子	○	×	×	×

会派に属さない議員				
齊藤 真治	○	○	○	○
小西 彦治	×	○	○	退

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。
退…退席

3月定例会において、次の方々に同意しました。(敬称略)

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

五條 操 佐久良 實
辻 博夫

▽人権擁護委員候補者の推薦 田中 賢一

▽教育委員会委員の任命 太田 洋子

市議会からのお知らせ

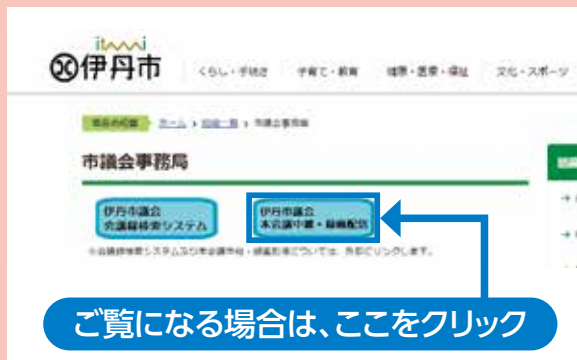
議員定数等調査検討特別委員会からの報告

昨年5月23日に設置された「議員定数等調査検討特別委員会」において、議員定数等に関し、所要の調査・検討が行われたのち、本年4月3日、杉議員定数等調査検討特別委員会委員長より、加藤議長に対して「議員定数等に係る調査検討結果について」が提出されました。



報告書の提出

3月定例会の質疑、代表質問、
個人質問及び答弁は、
市議会ホームページから
ご覧いただけます。



ご覧になる場合は、ここをクリック

議員の辞職について

里見孝枝議員は令和5年2月13日付けで、小西彦治議員は令和5年3月24日付けで、それぞれ辞職されました。また、久村真知子議員、佐藤良憲議員は令和5年3月31日付けで失職されました。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 FAX072-780-2897

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/14	15	16	17	18	19	20
		第2回臨時会 本会議招集日		本会議最終日		
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	6/1	2	3
					議会運営委員会	
4	5	6	7	8	9	10
				第3回定例会 本会議招集日 議員総会		
11	12	13	14	15	16	17
		本会議第2日 一般質問		本会議第3日 一般質問	本会議第4日 一般質問	
18	19	20	21	22	23	24
	議会運営委員会 本会議第5日 一般質問 議案質疑		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会	
25	26	27	28	29	30	7/1
				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会		

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 FAX072-784-8092 http://www.city.itami.lg.jp/

伊丹市議会だよりは86,100部作成し、印刷費は1部あたり7.15円です。